

【編集・発行】

社会福祉法人 阿見町社会福祉協議会
平成25年10月25日発行

【事務局】

阿見町阿見4671-1
総合保健福祉会館(さわやかセンター)内
E-mail: fukushi@amishakyo.or.jp(代表)
U R L: <http://www.amishakyo.or.jp>
Tel. 029-887-0084
Fax. 029-887-9934

阿見町社協

検索



祝

百歳長寿訪問



今年も100歳訪問は9月17日・18日・20日の3日間、天田町長・町秘書課広報・社会福祉協議会事務局にて国・県・町および社会福祉協議会から褒状と記念品をお届けしました。

100歳になられた方からお話を伺うと、皆さん揃って食欲が旺盛なことがわかりました。長生きの秘訣は好き嫌いをなく食べることです。左上から吉田範様、高橋よし江様、高野ナカ様、右側写真、永塚けさよ様。おめでとうございます！

町100歳9名のうち7名訪問(内3名の方は広報あみに掲載、なお石栗セイ様、石塚りん様は名前だけの掲載)

P2-P3 祝敬老会

P4 社協事業紹介(障害者支援センター・ほのほの交流会)

P5 社協事業紹介(中学生いきいき介護教室・ワークキャンプ・デイサービス)

P6 ありがとうコーナー

P7 ボランティアコーナー

P8 お知らせコーナー

笑顔

台風18号の中でも元気に

平成25年度 阿見町敬老会 (行政区単位実施会場)

は行いました。



レイクサイドタウン



鈴木区



下本郷区



福田区



一区南区



上長区



中央東区



筑見区



実穀区



三区上・三区下

23行政区の公会堂や集落センターなどで行政区単位での敬老会が行われました。記念式典・演芸・手作りのお料理で歓待するところなど、各地区とも趣向を凝らした内容で、とても和やかな様子でした。今回は自然災害における敬老会事業について様々な課題が明らかになりましたが、実施された小単位開催地域においては、状況の変化に柔軟に対応できる福祉の輪が作られていることがわかりました。すぐに手や声をかけられる距離(ご近所)のコミュニティづくりはとても重要であり、日々の生活のうらおいとなっているのだと感じました。

ひとあし早く西郷区は9月7日に、住吉区は9月8日に敬老会が行われました



西郷区



住吉区



【紙面の都合上一部の行政区のみの掲載となりました。ご了承ください】

平成 25 年度敬老対象者（75 歳以上）5,031 名

敬 老 会 表 彰 内 容	米寿 88歳	長寿 100歳	初高砂夫妻 80歳以上
	155名	9名	69組

平成 25 年 9 月 1 日現在



日本の人口は平成25年9月16日現在65歳以上が3,100万人を超えて全人口の約25%となり、過去最高で4人に1人が高齢者です。阿見町では、今年75歳以上は町人口の10%を上回り5,000人を超えました。

さて、小学校区合同会場（阿見第一小学校区（かすみ公民館）・本郷小学校区（本郷ふれあいセンター）・君原小学校区（君原公民館）・舟島小学校区（舟島ふれあいセンター））の4小学校区で敬老会を前記施設で開催する予定でしたが、台風18号が関東地方に上陸するという予報から、敬老会が事業を通して初めての中止となりました。表彰される皆様方は、大変楽しみにしていたと存じますが残念な結果となってしまいました。

台風は、近畿地方等を中心に日本中に大きな被害をもたらしましたが、幸いにも当町は大きな被害がありませんでした。台風の影響で16日開催予定していた5行政区は中止しましたが、今年度も阿見小学校区・阿見第二小学校区・吉原小学校区・実穀小学校区に加えて阿見第一小学校区からレイクサイドタウン、本郷小学校区から住吉区・下本郷区が行政区での開催となりました。当日開催した行政区はマンツーマンによる送迎等万全な体制で臨み地域住民の力が結集し、事故なく無事に敬老会を開催することが出来ましたことをご報告いただきました。大規模な単位では開催不可能だった敬老会ではありますが、地域における敬老会では、地域住民の協力体制が整っていれば柔軟に対応が可能であるということが証明されました。町としても行政区で開催する敬老会が地域コミュニティを形成する一つの足がかりとなることを期待しています。

最後に区長様を始め民生委員児童委員様、学校関係者や地域の皆様等多くの関係者の皆さまにご協力いただきましたことを深く感謝いたします。

社協デイサービスの敬老会

9月9日から9月13日の5日間、社協デイサービスの敬老会が行われ利用されている皆さまの長寿をお祝いしました。賀寿の方の表彰と記念品の贈呈の後、ボランティアの方々の協力による演芸を楽しんでいただきました。今年は日本舞踊、三味線、民謡、コーラス、面舞、エレキバンドのバラエティーに富んだ内容で会場の皆さまに楽しい一時を過ごしていただきました。



お祝いの記念品の贈呈



曙面舞会のお祝いの踊り



上郷バンドの華麗な演奏

阿見町障害者支援センター

指定障害福祉サービス事業所(多機能型)

【事業の目的】

◎障害を持った方が通所方式にて、個々の能力に応じ自立した生活を営むことができるよう、適切な支援を行うことにより自立の促進、生活の質の向上を図るとともに社会適応訓練、日常生活訓練、作業訓練、相談支援等を通して社会に参加する窓口となることを目的とします。

《生活介護》⇒

◎常に介護を必要とする人に昼間、排せつ、食事の介護等を行うとともに、創作的活動又は生産活動の機会を提供します。



納涼祭の様子(スイカ割り・風船割り・ヨーヨーつり)

《就労継続支援B型》⇒

◎一般企業等での就労が困難な人に、働く場を提供するとともに、知識及び能力の向上のために必要な訓練を行います。



作業訓練の様子(自動車の電装部品組み立て)

【事業所概要】

- 設 立 年 月 日：平成 24 年 4 月 1 日 ○利用定員 生活介護…20 名、就労継続支援 B 型…10 名
- 開 所 日 時：月曜日～金曜日 午前 9 時～午後 4 時まで
※休所日：土・日・祝祭日、12 月 29 日～翌 1 月 3 日
- 事業所所在地：茨城県稲敷郡阿見町阿見 4671-1 阿見町総合保健福祉会館内
- 事業実施地域：阿見町近隣市町村 ○茨城県指定第 0813800026 号



ほのぼの交流会



「テーブルコロコロ」で狙え、優勝!



奇抜な衣装も芸のうちです

※ 単身高齢者のみなさんにお集まりいただき
※ ほのぼの交流会を開催しました! ※

7/23、8/21に参加していただいた方は187人を数えました。たくさんの方と一緒におしゃべりや食事を楽しみながら、レクリエーションで盛り上がり大変にぎやかな交流会となりました。

また、大勢のボランティアの方のご協力により、おいしい食事とあたたかなおもてなしで、参加者の皆さんをお迎えすることができました。



大なべのカレーライスに舌鼓♪

レクリエーションでは、台湾でも大道芸人として活躍している方のハーモニカ演奏を聴きながら、懐かしの名曲を口ずさみました。

中学生いきいき介護教室

今年で6回目となります「中学生いきいき介護教室」は、4日間の日程で実施しました。勉強や部活動など忙しい夏休み、いつもと違う場所で新しい自分をみつけ、新しい仲間づくりをしてもらいたいと考え、講師の先生方にもご協力いただきました。初日は常磐大学コミュニティ振興学部の池田幸也教授のボランティア講座と地域包括支援センターによる認知症サポーター養成研修。2・3日目は県立医療大学保健医療学部の山口忍教授、本村美和助教、星出てい子助教による介護体験実習。その後、ケアセンター阿見・阿見こなんでの施設実習。最終日には、AED講習と池田幸也教授のふり返りの講座で締めくくりました。

将来、福祉や医療関係の仕事に興味があったり、家族が福祉の仕事をしているなどの理由で受講してくれた中学生…町内三中学校から参加しているため、最初はぎこちない様子でしたが、徐々にうち解け、最終日には学校や学年が違う仲間がで、とても楽しそうにしている様子が見られました。



「つくばみらい市認知症研究有志の会」による寸劇



県立医療大学体育館での体験実習



AED講習での1コマ

ボランティア体験ワークキャンプ

大学生ボランティア(BORA ぼらんていあ)と共に協議を重ね、8月23、27、28日の3日間を通して「災害時に役立つ体験をしよう～いつするの？今でしょ!!」をテーマに、町内の中学生を対象にワークキャンプを実施しました。独立行政法人防災科学技術研究所からは、学習支援を町交通防災課からは、災害物資の提供をしていただきました。学習内容は、自分の住んでいる町で災害が起こった時「どの様に行動するか」「支援物資となりえる物、支援者となりえる人」がどこにいるのか、を阿見中学校周辺地域を歩いて確認し、撮影した情報を具体的に地図上に配置し、1つの大きな「災害時に役に立つ防災MAP」を作成しました。防災研究所講師の李(い)先生いわく、防災MAP作成が最終目的ではなく、作成する過程で地域住民が協力し合い、災害に強いネットワークやコミュニティづくりに取り組んでいくことが大切だと教えて頂きました。また、宿泊した県立中央青年の家では、ウォークラリー、野外炊飯、キャンプファイヤー、ペットボトルロケットづくりなどを行いました。お互いが協力し、一つずつやり遂げていくごとに、参加したみんなの表情が、たくましく変わっていく様は、体験学習の醍醐味だと感じました。



防災学習



ウォークラリー



野外炊飯(火おこし)



野外炊飯(カレー実食)

阿見町社会福祉協議会 通所介護事業所(デイサービス)

毎回好評の絵手紙講座です♪



四季折々の行事を楽しんで
いただく他にも、ボランティアの
皆さまのお力をお借りして
様々なイベントを提供しています。



近くの畑を借りて
じゃがいもを植え、
ご利用の皆様
に収穫のお手伝い
をしていただきました。
次はサツマイモです♪



皆様が持っている能力に応じ、自立した日常生活を営む事が出来るようお手伝いを致します。
場所は阿見町総合福祉会館(さわやかセンター)内。
見学大歓迎です!!お気軽に足をお運びください。
お待ちしております!!



ありがとうコーナー



阿見町善意銀行

平成25年7月1日～平成25年9月30日

温かい心をお寄せくださった方々(敬称略)

(株)美都住建 ゴルフ部	30,000円	あみ産直直売所	12,946円
匿名	白米16.7kg		

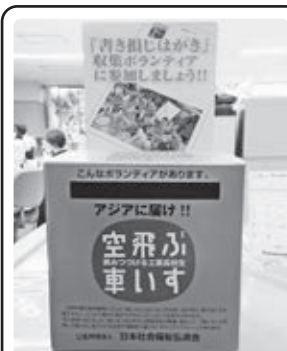
使用済み切手 書き損じ葉書収集

たくさんの古切手・書き損じはがき等
ありがとうございます

平成25年7月1日～平成25年9月30日 (敬称略)

波多野たか子	匿名	高橋和代
匿名	齊藤由貴子	茨城県立医療大学
高橋義男	阿見いきいきクラブ	海野みつい
筑見区有志一同	フタムラ化学(株)	
阿見インディアカ	丸尾カルシウム(株) 土浦工場	

※社協だより102号の訂正「使用済み(切手・テレカ・プリペイドカード)収集」→正しくは使用済み切手収集です。現在(テレカ・プリペイドカード)の収集は行っておりません。



社会福祉協議会の受付カウンターに回収箱が設置されています。この箱には未使用葉書や未使用切手も入れられます。
送り先は(公財)日本福祉弘済会

共同募金へのご協力ありがとうございます

期間：10月1日～12月31日



赤い羽根募金 10月1日～10月31日

歳末募金 12月1日～12月31日

今年も10月1日より、全国一斉に「赤い羽根共同募金運動」がスタートし、みなさまのあたたかい善意のご協力に、厚くお礼申し上げます。みなさまから寄せられた募金は、子ども、高齢者、障害者などを支援する、さまざまな福祉活動に役立てられます。12月からは歳末たすけあい募金が始まります。今後とも共同募金活動へのご協力を、どうぞよろしくお願いいたします。

平成25年10月1日(火)阿見町ボランティア連絡会の方々による募金活動を行いました。



カスミ阿見店様にて



カスミ荒川沖店様にて



タイヨー阿見店様にて

ぼらんていあ

霞帆の会の活動

霞帆の会 村山由紀枝

霞帆の会は、茶道・華道の愛好家達が集まり、阿見町の文化活動振興発展を目的としています。

茶道部は、年に一回程度の『チャリティ茶会』を催し、売上金の一部を善意銀行へ寄付していましたが、今年は東日本大震災の被災地北茨城市大津町への義援金としました。

華道部は、平成7年の活動当初より役場正面入口とうずら出張所内に、四季折々の花々を生けるボランティアをしています。月曜日の朝に作業をしていると、役場を訪れた方から「家で生ける時に参考にしてます」「家にもこの花咲いてるから飾ってみよう」等、嬉しい言葉を頂戴し、また工夫して皆さんに喜んでもらおうという気持ちになります。また、ボランティア連絡会の発表会では、お茶とお花の体験教室を開催し、多くの方に参加していただき好評を得ました。さわやかフェアでも体験教室を開きますので、来場された方はぜひ参加してみてください。

ボラ連、講習・発表会にて



フラワーアレンジメント体験



お茶をたてるの初体験!なかなか泡がたちません



役場に生けている花

学校プールにEM活性液投入!

阿見緑の会 石川 泰子

阿見緑の会は現在会員数13名。活動は定期的なものと、季節的なもの、そして出前講座等です。

地球環境の悪化を少しでも防ぎたいと主婦目線から、生ごみの堆肥化、水の浄化、次世代を担う子供たちに良い環境を残したい、そんな思いで19年前に立ち上げました。

霞ヶ浦は私たちに身近な湖で憩いの場でもあります。年々水質は悪化していて、いろいろな方々が何とかきれいにしようと取り組んでいます。

「霞ヶ浦の浄化はキッチンから」のキャッチフレーズにあるように、台所からきれいな水を流したいと、米のとぎ汁をEMで発酵させ、洗剤代わりに、悪臭緩和に、花野菜の活力の為に、環境の輪を広げてまいりました。

学校のプール清掃に阿見町全校でEM活性液の投入を始めて3年になりました。「水がきれいになり掃除がしやすくなった。」と先生方の声が届き活動にも大変な励みとなっています。子供たちの心のどこかで、「環境は一人ひとりの心がけが大切」と感じてもらえれば大変嬉しいです。



会員が小分けしたものを学校に運びます。



阿見第一小にて



君原小にて



舟島小にて

ぼらんていあ体験リレー

楽しさの拠点

「筑見ふれあい館」へどうぞ!!

筑見区自治会は350軒、920名が暮らす高齢化率34%、7年後は50%を超えるという少子高齢化真っ只中の住宅団地です。

誰もが通る道、“老後”寂しい地域ではなく、何か楽しい自分の家以外に自由に行ける交流の場、楽しさの拠点「筑見ふれあい館」が一年前にオープンしました。

旧自治会館を改装し、喫茶室と卓球などのできる多目的室、小さいながら子どもの居場所、子ども図書室もあります。

喫茶室は28人のボランティアのマスターさんが毎日当番で担当、入室料100円でコーヒー・紅茶・緑茶と共に花と緑、絵画、軽音楽でのおもてなし、友達やマスターとの語り、笑いで癒しのひと時となっています。

「マスターになって張り合いがある。」という一人暮らしの女性、「思いがけず夫婦でのマスターも楽しい。」など、それぞれが新たな人生、チャレンジに感謝しています。

ぜひ一度、美味しいコーヒーを味わいに来てください。お待ちしております。

筑見ふれあい館喫茶室マスターの会 事務局 田邊 080-5542-6590



ふれあい館でくつろいでいる様子

介護座談会開催

家庭で介護をされている方を対象に、介護座談会を開催します。

今回は、食事(介護食)について取り上げます。後半は皆さんでの交流も兼ねた座談会を予定しております。ぜひ、ご参加ください!

日 時	内 容	講 師
11月20日(水) 13:30 ~ 15:30	～前半～ 講 話 『食べやすく、おいしい介護食の工夫』 ～後半～ 座談会	株式会社ニチイ学館 ニチイケアセンター牛久南 内山 秀希 氏

☆定 員 30名程度

☆参加対象 阿見町在住、在勤で、関心のある方

☆参 加 費 無料

☆会 場 総合保健福祉会館(さわやかセンター)食生活改善研修室

☆申し込み 11月15日(金)までに電話及びメールにてお申し込みください。

阿見町地域包括支援センター ☎887-8124・0084

E-mail houkatsu@amishakyo.or.jp

メールでお申込の方は

①氏名

②電話番号

③住所

④参加動機

をご記入ください

認知症サポーター養成講座をひらいてみませんか?

今年の6月に最新の認知症患者の割合が発表されました。65歳以上の約15%が認知症と考えられるそうです。軽度認知症(MCI)を含めると、なんと4人に1人が認知症とその予備軍ということです。認知症は、私たちの周囲にいる人、あるいは自分自身に発症するかもしれない、きわめて身近な病気です。認知症を正しく理解し、上手に付き合っていきましょう。

○費用：無料 ○対象者：町内在住、在勤の方(年齢、性別、人数は問いません) ○開催日：希望する開催日時で調整

○場所：公民館、地域の公会堂、職場、学校など ※開催場所がない場合はさわやかセンターの利用も可能(要予約)

○内容：包括支援センターのスタッフが講師となりDVDを見ながら学びます

・なぜ認知症になるのか?・家族、知人が認知症になったらどう接する?・どこに相談すればいい?など

【問い合わせ】 阿見町社会福祉協議会 包括支援センター TEL 887-8124・0084

●● 総 合 相 談 ●●

【心配ごと相談】

◆相談日 毎週水曜日

◆時 間 午後1時～4時(受付3時30分まで)

◆場 所 総合保健福祉会館

【弁護士相談】

◆相談日 毎月第1水曜日(月1回)

◆時 間 午後1時～3時30分

(毎週水曜日の心配ごと相談にて事前にお話しを伺い弁護士相談が必要な場合予約となります)

【福祉相談】 【介護相談】 【ボランティア相談】

◇常時受け付けています。それぞれ担当者が親身になって相談にのっております。

どうぞお気軽にご相談ください。

【問い合わせ】電話 887-0084

編集者の ひとこと



暑い暑い夏から季節はすっかり秋へと変わってまいりました。季節の変化と共に夏の疲れが徐々にでてきた方もいらっしゃるのではないのでしょうか。夏バテならぬ、「秋バテ」というそうです。私も若干秋バテ気味ですが、「秋バテ」解消のためにも運動の秋、食欲の秋、読書の秋、行楽の秋、ボランティアの秋を満喫して、心身共に健康で穏やかに過ごせたらいいですね。皆さんはどのような秋を過ごされますか?さて、社会福祉協議会も参加型の事業をいろいろと企画しております。対象となる催しがありましたらぜひご参加ください。 I.H

皆さまの声をお待ちしております! 阿見町社会福祉協議会では、町民の皆様の声をお待ちしております。手紙、電子メールでお気軽にお寄せください。住所：阿見町阿見4671-1 総合保健福祉会館(さわやかセンター)内

ホームページ <http://www.amishakyo.or.jp> メールアドレス fureai@amishakyo.or.jp